



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月11日

上場会社名 株式会社ポプラ

上場取引所 東

コード番号 7601

URL <http://www.poplar-cvs.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 礼信

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員経営企画室長 (氏名) 大竹 修 TEL (082) 837-3510

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	2,970	△ 2.2	78	△ 26.2	91	△ 14.3	56	△ 33.0
2025年2月期第1四半期	3,036	△ 6.7	106	27.8	107	110.2	84	△ 44.7

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 58百万円 (△ 42.0%) 2025年2月期第1四半期 99百万円 (△ 33.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年2月期第1四半期	3	73	3	43
2025年2月期第1四半期	6	16	5	13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	4,360	792	18.2
2025年2月期	3,780	780	20.7

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 792百万円 2025年2月期 780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2026年2月期	—				
2026年2月期(予想)		0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	5,769	△ 7.4	163	△ 37.7	171	△ 36.1	96	△ 63.7	6	05
通期	11,497	△ 4.4	373	△ 8.5	373	△ 9.5	247	△ 34.2	16	86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	11,787,822 株	2025年2月期	11,787,822 株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	924 株	2025年2月期	924 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	11,786,898 株	2025年2月期1Q	11,786,933 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	—	—	3,250 00	3,250 00
2026年2月期	—				
2026年2月期（予想）		—	—	3,500 00	3,500 00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善や訪日外国人観光客の増加を背景に緩やかな回復基調で推移した一方、食料品や生活用品などの価格上昇が継続しており、個人消費の冷え込みが懸念されております。また、米国の関税政策による影響や緊迫する中東情勢など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、安定した黒字経営体制の確立と財務基盤の増強に取り組んでまいりました。

＜売上と利益の状況＞

店舗売上は、販売価格上昇の効果もあり、既存店ベースの売上前年同期比は106.3%と高い水準を維持しました。自社工場の製品売上につきましても、外部小売事業者への弁当や冷凍惣菜の販売が大きく伸長したことから、自社店舗への納品も含めた工場部門の総売上前年同期比は135.2%となりました。

一方で、米や海苔など原材料の価格高騰に加え、エネルギー価格の高止まりや人件費の上昇などのコスト高の影響は大きく、営業利益は78百万円（前年同期比26.2%減）、経常利益は91百万円（同：14.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56百万円（同：33.0%減）となりました。

セグメントごとの活動状況は以下のとおりであります。

＜スマートストア事業＞

「ポプラ」「生活彩家」ブランドで、施設内を中心に比較的小規模店舗を展開し、且つ自社工場においてグループ店舗や外部事業者へ弁当・惣菜を製造販売するスマートストア事業においては、店舗での仕入発注の精緻化による欠品防止や品揃え改善、QSCの見直しなど売上改善に向けた取り組みを行うとともに、施設内店舗においては、これまでコストの関係から営業時間外となっていた一部の時間帯を、キャッシュレスでセルフ決済専用の無人営業で運営し、営業時間の拡大による売上確保と低コスト化の両立を実現することを推進いたしました。

また、当社グループの戦略商品である、お店で炊きたてのご飯を盛り付ける「ポップ弁」については、徹底的な見直しによる再設計を実施し、一部商品において内容据え置きでの値下げを行ったり、あるいは価格据え置きでおかずの増量を行ったりした結果、大きく売上を伸ばすことが出来ました。

自社工場においては、ドラッグストア等への弁当・惣菜の販売が取引先の拡大とともに伸長し前年同時期の2.2倍に増加、また、老健施設向け完全調理済み冷凍惣菜の販売については前年同期比2.8倍と工場全体の生産量の1/4を占める事業へと成長いたしました。

これらの結果、スマートストア事業の営業総収入は1,299百万円（前年同期比1.7%増）、営業損失は62百万円（前年同期実績：営業損失12百万円）となりました。

＜ローソン・ポプラ事業＞

関東、関西、中国、九州で「ローソン・ポプラ」および「ローソン」ブランド店舗を展開するローソン・ポプラ事業に関しては、「お客様から“選ばれる売場”を常に実現””することを目標に、商品の充実や清掃の徹底、接客力の向上に取り組んでまいりました。

この結果、既存店売上前年比は106.6%と大きく伸長いたしました。

また、ローソン・ポプラ店舗の特徴である「ポップ弁」については、ポプラの弁当企画開発スタッフと連携して商品力の引き上げを行うとともに、デリバリーサービスでの販売を含め拡販に取り組みました。

出店に関しては、広島県庁舎敷地内への出店を含め2店舗実施、期末店舗数は122店（前年同期末：117店舗）となりました。

これらの結果、ローソン・ポプラ事業の営業総収入は1,494百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は234百万円（同：9.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

前連結会計年度末に比較し当第1四半期連結会計期間末の流動資産は537百万円増加し2,278百万円（前連結会計年度末比30.8%増）となりました。これは、主に当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休業日であったことにより仕入債務等の支払いが翌営業日に繰り越されたこと等から現金及び預金が437百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

前連結会計年度末に比較し当第1四半期連結会計期間末の固定資産は43百万円増加し2,082百万円（前連結会計年度末比2.1%増）となりました。これは、主に増産のため自社工場の設備導入を行ったことなどから有形固定資産が61百万円増加したことによるものであります。

（流動負債）

前連結会計年度末に比較し当第1四半期連結会計期間末の流動負債は474百万円増加し2,098百万円（前連結会計年度末比29.2%増）となりました。これは、主に当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休業日であったことから、月末の支払いが翌営業日となったことにより仕入債務等が384百万円、未払金が90百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

前連結会計年度末に比較し当第1四半期連結会計期間末の固定負債は94百万円増加し1,469百万円（前連結会計年度末比6.9%増）となりました。これは、主に自社工場の設備導入のため金融機関より借入を行ったことから長期借入金が151百万円増加したこと、一方で返済によりリース債務が39百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

前連結会計年度末に比較し当第1四半期連結会計期間末の純資産は11百万円増加し792百万円（前連結会計年度末比1.5%増）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益が56百万円であったことと、種類株式の配当支払いが45百万円あったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月11日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	806,120	1,243,499
売掛金	123,058	161,409
商品及び製品	246,132	225,837
原材料及び貯蔵品	25,026	26,088
その他	586,625	658,117
貸倒引当金	△45,730	△36,586
流動資産合計	1,741,232	2,278,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	104,711	103,546
土地	1,249,635	1,249,635
その他（純額）	205,520	268,015
有形固定資産合計	1,559,867	1,621,197
無形固定資産	3,315	1,789
投資その他の資産		
投資有価証券	61,412	63,237
敷金及び保証金	306,351	296,410
その他	119,153	110,532
貸倒引当金	△11,085	△10,699
投資その他の資産合計	475,832	459,480
固定資産合計	2,039,015	2,082,468
資産合計	3,780,248	4,360,834

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	258,771	556,568
加盟店買掛金	221,217	308,393
1年内返済予定の長期借入金	153,712	160,812
預り金	97,590	113,563
未払金	332,879	422,979
未払法人税等	97,550	17,526
賞与引当金	20,447	3,614
その他	442,135	515,251
流動負債合計	1,624,304	2,098,709
固定負債		
長期借入金	41,288	193,136
リース債務	173,725	133,959
退職給付に係る負債	425,785	431,097
資産除去債務	194,781	187,088
長期預り金	534,357	517,499
その他	5,172	6,888
固定負債合計	1,375,111	1,469,669
負債合計	2,999,415	3,568,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金	761,448	771,363
自己株式	△408	△408
株主資本合計	791,039	800,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,158	7,370
退職給付に係る調整累計額	△16,365	△15,869
その他の包括利益累計額合計	△10,207	△8,499
純資産合計	780,832	792,455
負債純資産合計	3,780,248	4,360,834

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）
営業総収入		
売上高	2,180,781	2,064,084
営業収入	855,330	905,917
営業総収入合計	3,036,112	2,970,002
売上原価	1,672,688	1,624,136
営業総利益	1,363,424	1,345,865
販売費及び一般管理費	1,256,896	1,267,198
営業利益	106,528	78,667
営業外収益		
受取利息	147	601
受取手数料	152	339
開発負担金収入	1,699	3,149
違約金収入	3,164	1,038
貸倒引当金戻入額	442	10,435
その他	1,956	2,793
営業外収益合計	7,563	18,357
営業外費用		
支払利息	5,522	4,407
コミットメントフィー	1,251	625
その他	182	151
営業外費用合計	6,956	5,183
経常利益	107,135	91,840
特別利益		
固定資産売却益	768	69
特別利益合計	768	69
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	10,599
特別損失合計	0	10,600
税金等調整前四半期純利益	107,904	81,310
法人税、住民税及び事業税	19,569	17,958
法人税等調整額	4,226	7,031
法人税等合計	23,796	24,989
四半期純利益	84,108	56,321
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,108	56,321

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）
四半期純利益	84,108	56,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,643	1,212
退職給付に係る調整額	△2,770	495
その他の包括利益合計	15,873	1,708
四半期包括利益	99,981	58,029
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,981	58,029
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	13,481千円	13,999千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2024年3月1日 至2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スマート ストア事業	ローソン・ ポプラ事業	計				
営業総収入							
加盟店からの収入	683,534	501,308	1,184,843	—	1,184,843	—	1,184,843
直営店舗の売上	172,026	1,042,137	1,214,164	194,259	1,408,424	—	1,408,424
その他の収入	398,134	18,378	416,513	1,692	418,205	—	418,205
顧客との契約から 生じる収益	1,253,695	1,561,825	2,815,521	195,952	3,011,473	—	3,011,473
その他の収益 (注) 4	24,279	360	24,639	—	24,639	—	24,639
外部顧客への営業 総収入	1,277,974	1,562,185	2,840,160	195,952	3,036,112	—	3,036,112
セグメント間の内部 営業総収入又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,277,974	1,562,185	2,840,160	195,952	3,036,112	—	3,036,112
セグメント利益又は 損失(△)	△12,446	213,554	201,107	△9,017	192,090	△85,562	106,528

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、ドラッグストア及び外食事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、配分されていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日 企業会計基準委員会)に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自2025年3月1日 至2025年5月31日）

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	スマート ストア事業	ローソン・ ポプラ事業	計				
営業総収入							
加盟店からの収入	636,136	579,591	1,215,728	—	1,215,728	—	1,215,728
直営店舗の売上	173,174	898,169	1,071,343	174,578	1,245,921	—	1,245,921
その他の収入	469,003	15,964	484,968	1,621	486,589	—	486,589
顧客との契約から 生じる収益	1,278,314	1,493,725	2,772,039	176,199	2,948,239	—	2,948,239
その他の収益 (注) 4	21,402	360	21,762	—	21,762	—	21,762
外部顧客への営業 総収入	1,299,717	1,494,085	2,793,802	176,199	2,970,002	—	2,970,002
セグメント間の内 部営業総収入又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,299,717	1,494,085	2,793,802	176,199	2,970,002	—	2,970,002
セグメント利益又は 損失 (△)	△62,429	234,191	171,761	2,169	173,931	△95,264	78,667

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店事業、ドラッグストア及び外食事業であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、配分されていない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 2007年3月30日 企業会計基準委員会）に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第1四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失を10,599千円計上しております。当該減損損失の計上額は、「スマートストア事業」セグメントにおいて10,599千円であります。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。